

図書館員だった 有名人たち

県立図書館司書
菅野俊之



図書館コーナー

「本に囲まれた生活をしていると、ガンにかかって死ぬ確率も高い」（曾根博義「愛書家失格」）という新説があらわれたのは、驚いた。山のよう
に本を積みあげた職場で毎日働いている
我身、はてそんなものかしらと、ど
うもぞっとしない。いささか気になっ
て、太宰治が「津軽」の冒頭で作家の
寿命調べをやってみせたひそみに倣っ
て、著名図書館員の行年を調査してみ
た。結果は長命な人が多く、特にガン
の罹病率が高いということもないよう
なので安心したが、同時に、意外な人
物が元図書館員であった事実が多いこ
とに気づいたので、一時の座興として
紹介してみたい。

毛沢東は一九一八年、北京大学図書
館長の助手をしていたが、さっぱりう

だが上がらず、昇進も遅れたので思
いきって他の分野へ転換する決心をし
た。後に中国共産党の主席として活躍
したことは御承知のとおりである。図
書館員として失格じゃないと、政治家
にはなれないということであろうか。

「回想録」を著したイタリヤの有名な
好色家カザノヴァは、漁色に熱中す
る傍らボヘミアのデュックス城で、ヴ
アルトシュタイン伯爵の司書として十
三年間も勤めていたという。

お堅いところでは十八世紀ドイツの
哲学者・劇作家のレッツィングがいる。
彼は、ヴォルフエンビュッテルという
小都市の司書官として長年在職し、他
館との複本交換や図書の分類排列を計
画・実施しており、また自館架蔵の貴
重写本を六冊の刊本として出版してい
る。この間に、傑作戯曲「賢者ナータ

ン」を執筆しているが、ヴォルテール
の原稿を借りたまま返却しなかったた
めに、どろぼう呼ばわりされたり、彼
のやった図書の分類はでたらめでどう
もあてにならないという風評が残され
ており、図書館員になった動機も借金
で首がまわらなくなって遂に蔵書を売
り払ってしまったので、しかたなく本
のある図書館に勤めたのだそうであ
る。

その他、ストリンドベリはスエーデ
ン王立図書館、アナトール・フランス
はフランス上院付属図書館、カール
はロンドン図書館の司書として長年
勤務していた経歴があり、それぞれに
ライブラリアンとしても多大の業績を
あげており、特にカールは図書館
長になっている。変わったところでは、
ローマ法王ピウス十一世が元図書館員
であったことは、あまり知られていな
い。

さて、目を我国に転ずると異色の図
書館員としては、まず歌手の東海林太
郎をあげるべきであろう。彼は早稲田
大学卒業後、南満州鉄道に入社、後に
鉄嶺図書館長を務めた由緒正しい図書
館員なのである。頭髪にコテをかけ、
極端に長い燕尾服の正装、直立不動の
姿勢で「赤城の子守唄」や、「国境の
町」を歌う彼の律義さは、図書館員時
代に培われたものではないか、という
想像は案外、正鵠を射たものであるの
かも知れない。

「分け入っても分け入っても青い
山」などの斬新な俳風で、近頃人気を
集めている漂泊と乞食の俳人種田山頭
火が、東京の一ツ橋図書館員だったこ
とがあるのも意外な事実である。もっ
ともこの仕事は彼の気質にあわなかつ
たらしく、神経衰弱になって二年間程
で退職してしまっただけで、さもあ
りなんといった印象である。森鷗外
は、大正六年に宮内省の図書館長に就
任している。名前だけの館長ではなく
「天皇皇族実録」の編さんに尽力し、
また「帝室洋書目録」を自ら独力で編
集刊行しているのである。

ついでに余談として、図書館員にな
りそこなった有名人を洋の東西から一
人ずつ紹介しておこう。

スタンダールはパリの国民図書館写
本部に就職しようとして猛運動を展開した
が失敗し、失意のため遺書をしたため
たほどであったという。

また、夏目漱石は五高の教師生活に
嫌気が差し、明治二十九年帝國図書館
への転職を岳父中根重一に依頼した
が、彼の庶幾したように事は運ばず、
結局、嫌々ながら教員を続けなければ
ならなかった。この事件が、後に漱石
が朝日新聞社に入社して作家として大
成する遠因の一つとなったのでは、と
いう推測は、あまりにもうがち過ぎる
見方であろうか。